

## 地域課題① 健全な財政運営に向けた検討や組織の見直しによる役員等の負担軽減

### ★具体的取組の例

- 住民合意に基づく会費収入に見合った事業運営の見直し
- 公民館類似施設運営・活動費補助金の有効活用

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	20	74%
取り組まなかった	7	26%
無回答	0	0%

### 具体的取組とその効果など

#### 【30 世帯以下】

- ・自治会費の減額を実施した。
- ・会長業務の見直しを図り、業務を他の役員に分配した。

#### 【31～100 世帯】

- ・役員の役割分担を明確にし、住民へ周知することにより会長の負担を軽減した。
- ・事業内容と組織の見直しを行い、部の統合と役員を減らした。
- ・役員報酬（会長・副会長・主事・会計）を減額で提案し、承認された。
- ・在住者以外にも墓地管理費徴収を始めた。
- ・会議資料を事前に役員へ配布した。
- ・参加人数に合わせ削減するなど、予算を適正に使用した。
- ・人口、世帯数の減少により毎年自治会費収入が減少しているため、各部の事業活動費 5%削減を目標に予算を検討した。
- ・事業の見直しによる財政健全化を図った。
- ・手集計だった自治会費算定作業をパソコンでデータ管理し、効率化を図った。

#### 【101～300 世帯】

- ・住民負担軽減のため、自治会費の削減と事業に見合った役員体制にした。
- ・自治会執行委員の選出方法を検討委員会で決定した。
- ・自治会の研修会にて自治会費の等級割や役員選挙制度の在り方等について話し合いを実施した。
- ・会議時間の短縮、懇親会の時間制限等を行った。

#### 【301 世帯以上】

- ・自治会予算の交付金の交付手順改善に努め、金額の妥当性の検討を図った。

## 地域課題② 将来を見据えた単位自治組織の検討

### ★具体的取組の例

- SNS の活用など新しい生活様式の導入
- 若者や女性等、多様な人材の活躍の場づくり

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	12	44%
取り組まなかった	15	56%
無回答	0	0%

### 具体的取組とその効果など

#### 【31～100 世帯】

- ・有線放送を控えの連絡手段とし、役員間で LINE を活用して連絡調整を行った。
- ・会議資料等をデジタル化して、情報共有を図った。
- ・役員会で議事録を作成し、日程、行事、協議事項等を事前に周知しスピーディーな要点をついた会議を行った。
- ・地元特産品の生産、販売等について、地域住民以外の方から参加や協力が得られた。
- ・複数の世帯が離村したことで軒並みグループ（組）の世帯区分分けについて検討した。

#### 【101～300 世帯】

- ・各部の組織体制が現状に合っているのか検討した。

#### 【301 世帯以上】

- ・自治会内で分かれている 3 集落の会計の在り方を協議した。

## 地域課題③ 安全で安心して暮らせる防犯・防災対策の推進

### ★具体的取組の例

- 住民が災害対策意識を強く持つように、定期的な避難訓練と有事に備えた話し合いの機会や講習会の開催
- 自主防災組織の機能点検

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	22	81%
取り組まなかった	5	19%
無回答	0	0%

### 具体的取組とその効果など

#### 【30 世帯以下】

- ・有線放送設備の有線を自治会で配線し、希望した家庭では自宅で防災行政無線が聞こえるようにした。
- ・住民参加でコミュニケーションを図り、生活の「不安」の解消に取り組んだ。

#### 【31～100 世帯】

- ・能登半島地震での避難について反省を行い、直ぐに避難路整備、防災備蓄品の補充等を行った。
- ・住民を対象とした避難訓練を実施し、防災備品の点検・確認を行った。
- ・防災備品の保管場所について話し合い、公民館から一次避難場所の防災倉庫に移動した。
- ・「個別避難計画」に関して、災害発生時の要配慮者について話し合い、名簿の作成を行った。

- ・自主防災組織の役割分担について確認するとともに、安否確認の訓練を実施した。
- ・消防団（分団）訓練と一緒に火災訓練を実施した。

## 【101～300 世帯】

- ・避難路整備として消防団による草刈り、点検を行った。
- ・消防団との連携を図り、消火栓を使用しての放水訓練を実施した。

## 【301 世帯以上】

- ・防災避難訓練を実施した。
- ・自治会内の危険箇所対策について行政への要請を行った。
- ・二次避難所の備品点検、確認を役員で実施した。

## 地域課題④ 次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり

## ★具体的取組の例

- 世代間交流などによる伝統行事や伝統文化の継承への動機づけと支援
- 地域理解を深めるための学習支援

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	16	59%
取り組まなかった	11	41%
無回答	0	0%

### 具体的取組とその効果など

## 【30 世帯以下】

- ・自治会内には子供がいないため、地域外の子供達との交流を図るために雪灯籠祭を検討した。

## 【31～100 世帯】

- ・子供達と臼で餅つきを行い、ナシ団子を作り伝統文化に触れている。
- ・自治会役員、若勢会、少年会で筍汁会を実施した。少年会行事の親子研修等も実施した。
- ・集落の春祭典時、少子化で伝統芸能の継承が危ぶまれたが何とか OG も協力し実施できた。
- ・若者中心に企画運営を行い、若い世代の参加者が多く活気ある夏祭りになった。
- ・世代間交流を兼ねて運動会を開催するとともに、芋煮会で親睦を図った。

## 【101～300 世帯】

- ・小学校登下校時の見守り隊が発足した。
- ・小中学生と一緒に海岸清掃を含めた環境美化運動に取り組んだ。
- ・育成部が中心となり登山、川遊びを計画し実施した。
- ・集落内の危険箇所点検及び通学路安全点検等を実施した。
- ・祭典の保存会を立ち上げ、壮年、青年、少年の参加や取組み体制を検討した。自治会とも連携してさらにより良い体制づくりを進めていく。
- ・自治会生涯学習部を通し、地区運動会等の夏季冬季のレクリエーションに参加した。
- ・地域イベントを開催し、新聞・ポスター・インターネット等で告知を行った。

## 【301 世帯以上】

- ・公民館事業として美化活動、夏祭り、ラジオ体操等を実施した。

- ・育成部を中心にして小中学生の学びの機会をつくった。
- ・地区自治会事業の開催に協力した。

## 地域課題⑤ 高齢者等福祉の視点に立ったコミュニティづくり

### ★具体的取組の例

- 高齢者が持つ知識や経験を活かした地域づくりの推進
- 日常生活での見守り・支え合い体制の仕組みづくりと強化

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	19	70%
取り組まなかった	8	30%
無回答	0	0%

### 具体的取組とその効果など

#### 【30 世帯以下】

- ・高齢者等ごみ出し支援事業補助金を利用してごみステーションの足場を作ったり、扉の改修を実施した。
- ・必要に応じて自治会広報を作成し、有線放送の代わりとして活用した。
- ・健康座談会を通し、通院の課題を検討した。

#### 【31～100 世帯】

- ・冬季間や悪天候などにより、ごみ収集日にごみ出しが困難な高齢者を支援した。
- ・自治会から活動費の一部を支給した。おたっしやクラブ、いきいきクラブ、百歳体操などの活動はコロナ前に戻り活動を行っている。
- ・健康教室、花壇の手入れ、神社や寺の掃除などを行った。
- ・75 歳以上の方に日常生活の支援の必要性についてアンケートを実施した。
- ・コロナ禍で数年ぶりとなる会費を集めての敬老会を開催した。
- ・現状を維持していくことに努め、新しいことに取り組む余裕が無かった。

#### 【101～300 世帯】

- ・老人クラブは解散したが、軽スポーツ茶話会活動を行った。
- ・お楽しみ会の回数を増やし、新規会員の勧誘に努めた。
- ・高齢者などを対象に、草むしりや買い物代行などの日常の困りごとをサポートする、住民による有償ボランティア支え合い「結の会」への支援を行った。

#### 【301 世帯以上】

- ・老人クラブ、GG クラブ、健康教室、スマホ教室などに支援し、活性化を図った。

## 地域課題⑥ 広域コミュニティ組織の検討

### ★具体的取組の例

○地区自治会の今後のあり方の検討

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	5	19%
取り組まなかった	22	81%
無回答	0	0%

### 具体的取組とその効果など

#### 【30 世帯以下】

- ・他集落との合併に向けた話し合いが必要。

#### 【31～100 世帯】

- ・他の学区と親交や交流を深めるために親睦会を開催し、大盛況だった。

#### その他

- ・将来を見据え、中長期の地域ビジョン作成が重要だ。

## その他／ 地域で課題になっていることなど

#### 【30 世帯以下】

- ・住民の高齢化により自治会員が高齢のため、次の役員のなり手がいない。
- ・若い人の参加が無いため、自治会行事が減っていく。

#### 【31～100 世帯】

- ・若い夫婦世帯が集落内から転居し、少子化に拍車がかかっている。
- ・空き家が増加しているため、管理が行き届かず強風時に壊れている所が飛散し、他住宅に被害を及ぼしている。
- ・住民の高齢化、人口減少、少子化による自治会組織の維持に不安（若者不足）。
- ・少子高齢化に伴い、自治会行事や年中行事の実施が困難になってきている。
- ・別々に実施している自治会長選挙及び役員選挙を規約改正案を提出し、統一する。
- ・生産森林組合を認可地縁団体に移行するか検討した。
- ・高齢化に伴い、自治会に関わる人が減少している。地域の環境整備や祭典等の行事運営が難しくなってきた。高齢化と若者の減少がいよいよ進んできたことを感じ、改めてビジョンの次の段階の見直しを検討した。
- ・民生児童委員、保健衛生推進員、環境保全推進員などの人数、推薦方法の検討を願う。行政で別の役職に一本釣りしないで自治会と調整してほしい。
- ・流雪や防火用水の水源となっている水路の維持管理（土砂上げ、草刈り）が、人口減少・高齢化により大変になっている。頭首工も整備されておらず、取水が悪いため整備工事が必要。
- ・鳥獣被害により農地の荒廃が顕著。
- ・海岸に漂着するごみが増え続けている。

#### 【101～300 世帯】

- ・有線放送設備の劣化が著しい。
- ・団地の老朽化。

- ・世帯の減少により会費収入が減少した。
- ・高齢者世帯の増加等により、地区一斉の清掃活動や夏祭り等のイベント参加者人数が減少した。
- ・担い手となる人選が大変。民生児童委員、環境保全推進員、保健衛生推進員、統計調査員の推薦依頼など非常に大変な状況である。改選期になれば、森林組合の総代、推進員などもある。
- ・保育園、金融機関、店舗、医療機関、路線バスなどの廃止・撤退により地域の活性が失われつつある。

【301 世帯以上】

- ・空き家（特に大型旅館）の危険性がある。
- ・通学路に落石危険区間がある。

**その他／ 具体的に考えている事業や取組んでみたい事業など**

【30 世帯以下】

- ・災害時に IP 無線・衛星電話まで手が回らず、自分のスマホだけで十分である。大規模災害でなくともがけ崩れの写真等の報告をスマホから即庁舎へ送り、レポート受理する流れを作してほしい。
- ・雪灯籠祭、弓あそび事業をしたい。

【31～100 世帯】

- ・地域資源を活用した事業をしたい。
- ・新しく兼務の企画担当役員を設け、集落の状況にあった新企画を検討している。
- ・地域住民が一体となって取り組んでいた「しな織まつり」を継続して実施する。
- ・国指定史跡の小国城址に関連する事業を鶴岡市共催で計画している。
- ・自治会単独では不可能であるが、流雪水路の整備事業をしたい。国や県の事業がないか模索している。

【101～300 世帯】

- ・祭典保存会を設立後 8 回の会議を開き、祭典行事を開催した。可能な限り計画している行事、事業をコミュニティづくりも併せて進めていきたい。
- ・各種地域行事を存続させるため、時代に応じた改革と見直しを図りながら参加者を確保する。

**その他／ 地域コミュニティに関するご意見など**

【31～100 世帯】

- ・高齢化が進み、地域行事や奉仕作業等への参加人数が徐々に減少している。しかし、数年ぶりに子供が誕生するという嬉しいがニュースもあった。
- ・自治会長会の研修等で、一緒に地域の若者の参加を希望する。元気あるポジティブな意見を取り入れ、自治会運営の参考としたい。

【101～300 世帯】

- ・小学校等の行事で休憩所として利用できるように、公民館のトイレを洋式化し、男女別の仕切り改修を実施したい。
- ・地域の研修会等について、ふさわしい講師等について紹介してほしい。

【301 世帯以上】

- ・公民館事業の整理統合の観点から地区コミセン制への検討。